

Panasonic

HDDカーナビゲーションシステム

取付説明書

品番 CN-HDX300D



ご使用前に、ナビゲーションの操作編の「安全にお使いいただくために」と「使用上のお願い」を必ずお読みください。

お客様へのお願い
本機の取り付け、配線には専門の技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

販売店様へのお願い
本機の取り付け後、この取付説明書は必ずお客様へご返却ください。

この説明書は、再生紙を使用しています。



この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

取り付け・配線の前に

本機を落下させる、たたくなどして衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
本機はDC12Vアース車専用です。DC24V車では使用しないでください。
安全のため、必ずバッテリーの⊖端子をはずしてから作業してください。

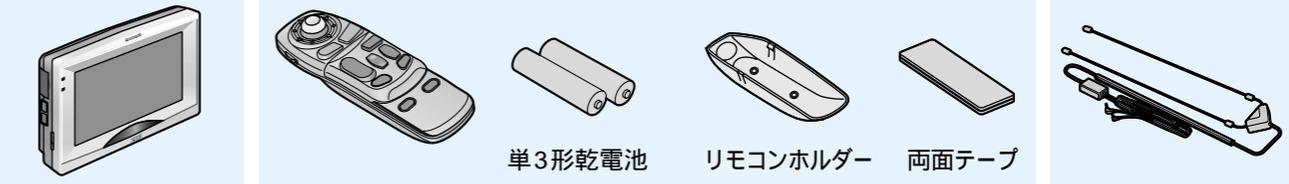
必ず付属の部品を指定どおり使用してください。取り付けには、一般工具、カッターナイフ、布きれなどがが必要です。
ボルト、ナット、ねじの取り付けは寸法があった工具を使用し、まっすぐ確実に行ってください。
作業終了後、必ず取り付け・配線を確認してください。

別売の機器でシステムアップする場合には、必ず指定品をお使いください。また、各機器の説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

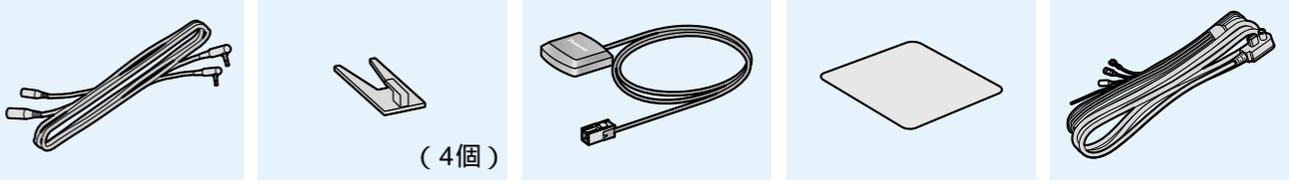
内容物の確認

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

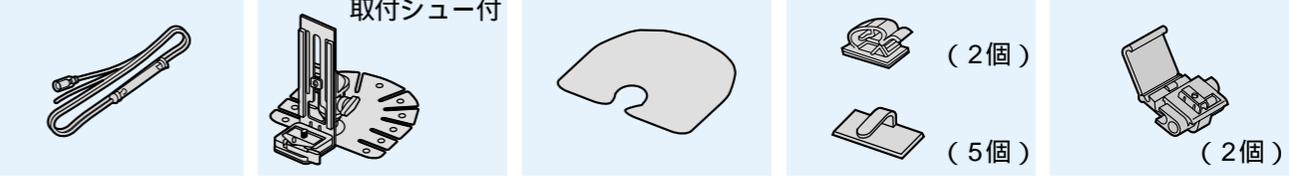
- ① カーナビゲーション本体 ② リモコン ③ TV・FM多重用アンテナ



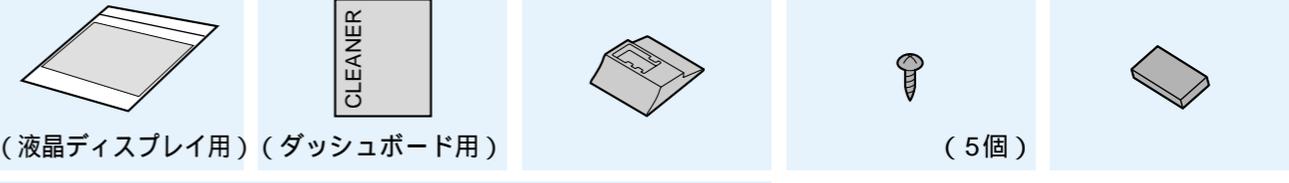
- ④ 延長コード ⑤ 補助クランパー ⑥ GPSアンテナ ⑦ 金属シート ⑧ 電源コード



- ⑨ 車速信号中継コード ⑩ スタンド ⑪ スタンドカバー ⑫ コードクランパー ⑬ 圧着式コネクタ



- ⑭ クリーニングクロス ⑮ クリーナー ⑯ 家庭用スタンド ⑰ タッピンねじ ⑱ クッション材



かんたんガイド 保証書 取扱説明書(操作編) お客様ご相談窓口一覧表 取付説明書(本書)

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 カーシステムビジネスユニット

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地
お客様相談センター 電話 ☎ 0120-50-8729
FAX 045-939-1939
受付 9:00~17:00(土・日・祝日・弊社休日を除く)

YEFM292915
F1002-0

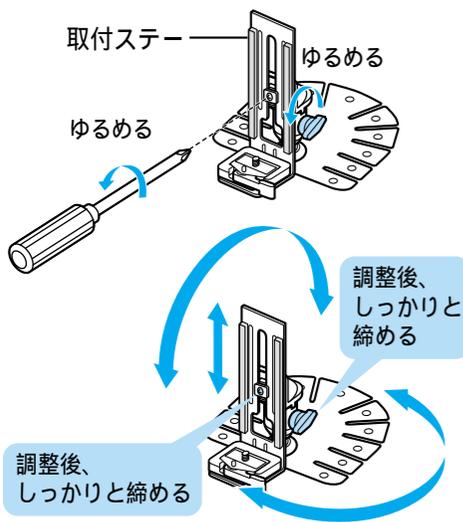
カーナビゲーション本体の取り付けかた

取り付ける前に

カーナビゲーション本体をスタンドに仮止めし、取り付ける位置を確認してください。スタンドは、一度取り付けると粘着力が弱くなるため、貼りなおしができません。

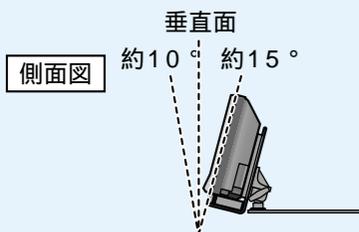
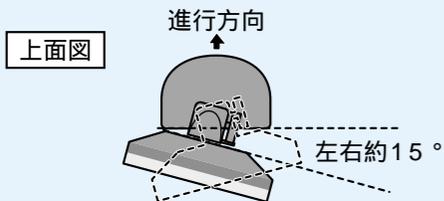
ダッシュボード用クリーナーで設置面の汚れ(ごみ、油など)をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。気温が低いときは、設置面をドライヤーなどで温めてください。

1 スタンドの向き・高さを調整する



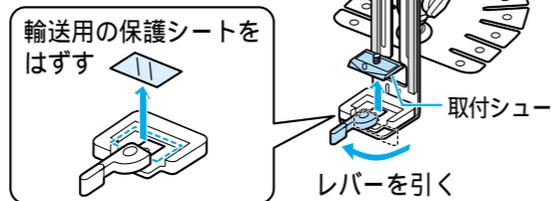
取付許容範囲について

本機はジャイロを内蔵しています。自車位置を正しく表示させるため、必ず下記の範囲内の角度で取り付けてください。



2 カーナビゲーション本体をスタンドに仮止めし、取り付け位置を確認する

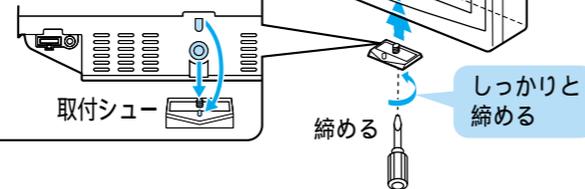
① 取付シューを取りはずす



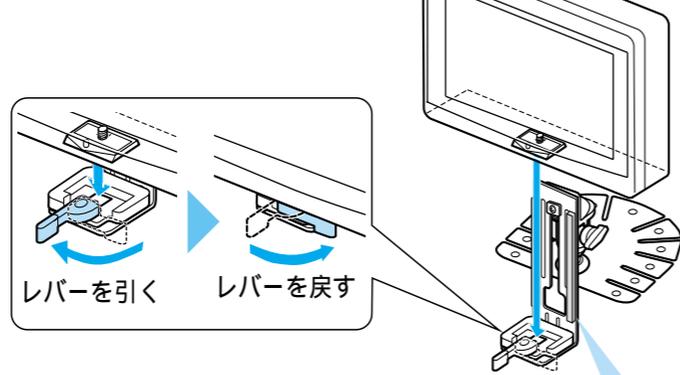
② カーナビゲーション本体に取付シューを取り付ける

カーナビゲーション本体の穴を、取付シューの突起に合わせる。

① カーナビゲーション本体(底面)



③ カーナビゲーション本体をスタンドに取り付ける



④ 高さや向きを確認してから、カーナビゲーション本体をいったん取りはずす

禁止 運転や視界の妨げになる場所に絶対に取り付けない

禁止 エアバッグのカバー部分や作動の妨げになる場所に、絶対に取り付けない

! 指定のスタンドを使用する

3 スタンドをダッシュボードに取り付ける

スタンドを設置面に強く押し付けて、確実に密着させてください。安全のため、付属のねじで固定してください。(ダッシュボードに穴が開くことをご了承ください。)助手席エアバッグ付近には取り付けないでください。エアコンの吹き出し口付近や発熱するものの付近には、取り付けないでください。

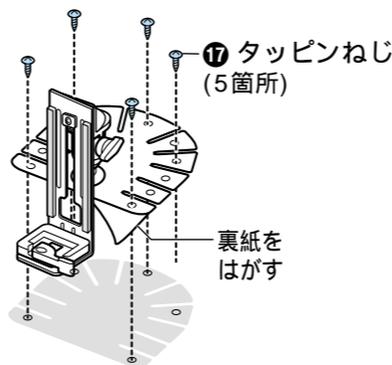
右記のような場所には取り付けないでください。落下の原因になります。

スタンド貼付面全体が密着しないような強い曲面

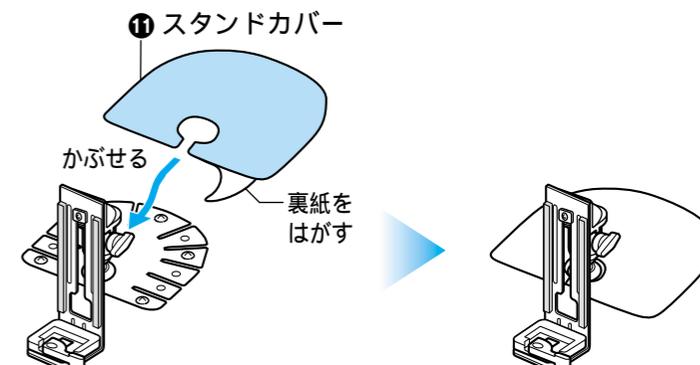
約30°以上傾いた場所(推奨15°以下)

不安定な場所

① スタンドをダッシュボードに取り付ける



② スタンドカバーをスタンドにかぶせ、密着させる

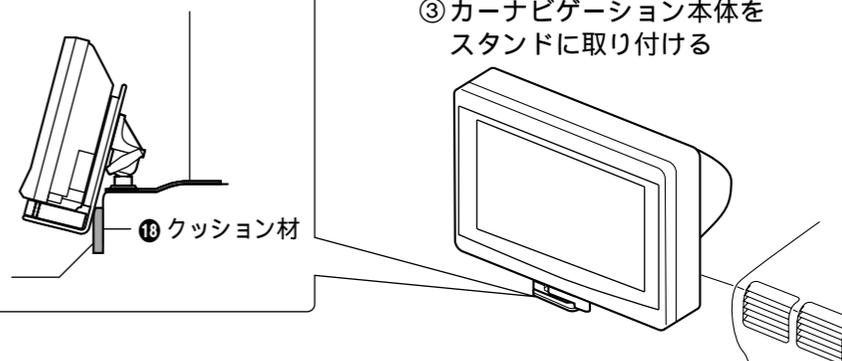


固定力を強くするため、カーナビゲーション本体を取り付けずに24時間以上放置してください。

24時間以上経過したら...

設置面(ダッシュボード)が平らでないときは、スタンドをダッシュボードの形状に合わせて曲げてください。

ダッシュボードに取付ステーが接触するときは、振動でノイズが発生する原因になりますので、接触する部分にクッション材を貼り付けてください。



③ カーナビゲーション本体をスタンドに取り付ける

TV・FM多重用アンテナの取り付けかた

付属のTV・FM多重用アンテナは、簡易アンテナです。(室内取り付け型)
電波の受信状態が悪く、テレビの映りやFM多重の受信がよくない場合は、別売のダイバーシティアンテナ (CL-T70D/CL-T80D/CL-T90D)をご利用ください。

取り付ける前に

仮止めして、取り付ける位置を確認してください。
TV・FM多重用アンテナは、一度取り付けると、粘着力が弱くなるため、貼りなおができません。
設置面(ガラス、ダッシュボード)のごみ、油、汚れなどをきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
気温が低いときは、設置面(ガラス、ダッシュボード)をドライヤーなどで温めてください。

取り付け位置について

各種電子機器(本機など)から20cm以上(推奨)離してください。
前方・後方の視界を妨げない位置に取り付けてください。
助手席エアバッグやデフロスタの性能を妨げる位置には配線しないでください。
電源コードからは、できるだけ離してください。

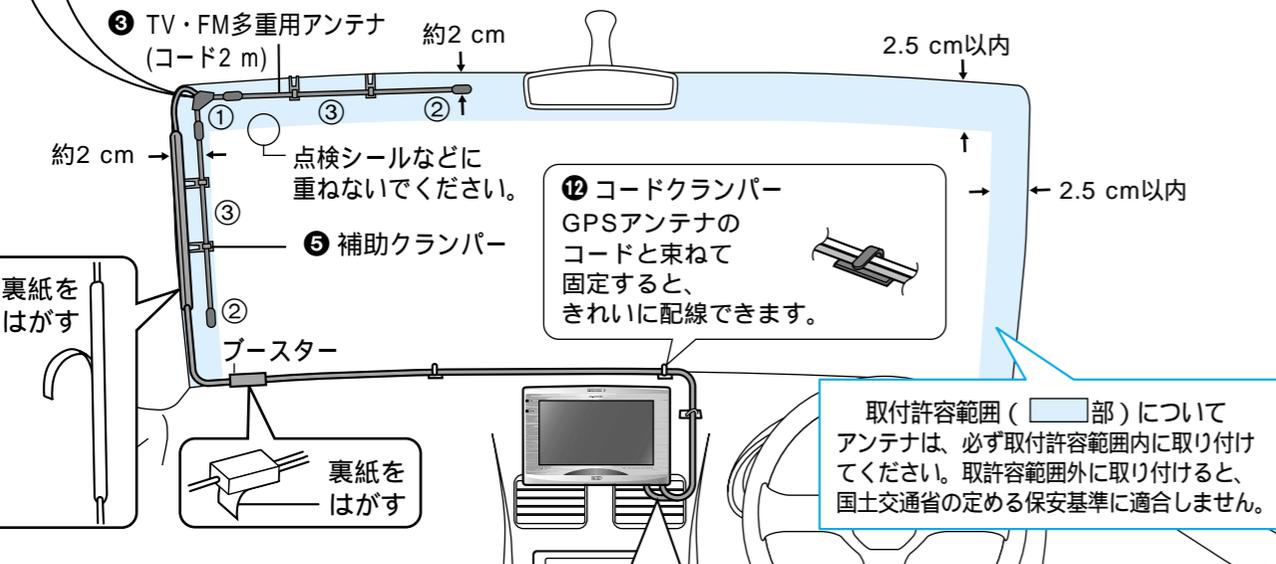
フロントウインドウに取り付ける場合(推奨)

保安基準に適合させるため、また、性能を十分に発揮するために、必ず下記の位置に取り付けてください。
保安基準は、道路運送車両の保安基準第29条第4項第7号に対する、平成11年12月27日付の運輸省(当時)告示第820号をいいます。

1 アンテナを貼り付ける

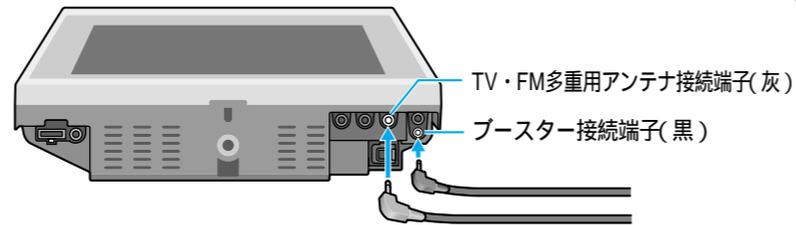
- ① アンテナの本体部を貼る
- ② アンテナをまっすぐに伸ばして貼る
- ③ 補助クランパーを均等な位置になるように貼る

上下逆に取り付けない
接着面に手を触れない/貼りなおさない
アンテナコードやウインドウの縁から約2cm離して貼る
アンテナを折ったり曲げたりしない



2 コードを引き回す

付属のTV・FM多重用アンテナは、ブースター搭載のFM多重放送およびテレビ放送受信用アンテナです。必ず右図のように接続してください。



フロントウインドウに取り付けられない場合は

アンテナが点検シールに重なるなどの理由で、フロントウインドウに取り付けられない場合は、リアウインドウに取り付けてください(下記参照)

お願い

リアウインドウにアンテナが内蔵されている場合は、電波が干渉するため、リアウインドウに取り付けられません。お買い上げの販売店に相談してください。

リアウインドウに取り付ける場合

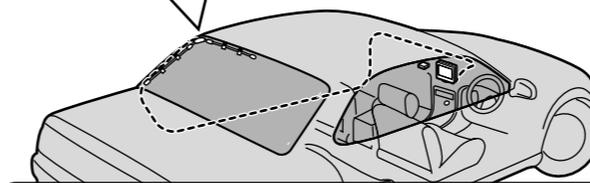
1 アンテナを貼り付ける



2 付属の延長コード(3m)を接続して、コードを引き回す

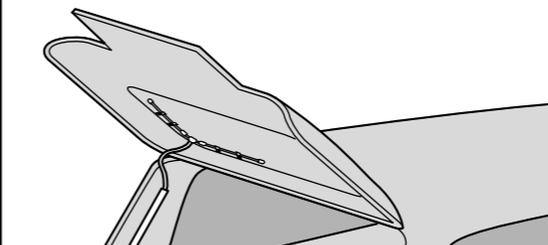
お願い

シートレールやドアなどに挟み込んで、コードを破損しないようにしてください。
なるべく熱線を避けて貼ってください。



ハッチバックの場合は

ドアの開閉時にコードに無理な力が加わらないよう、適度なゆとりを持たせてください。



GPSアンテナの取り付けかた

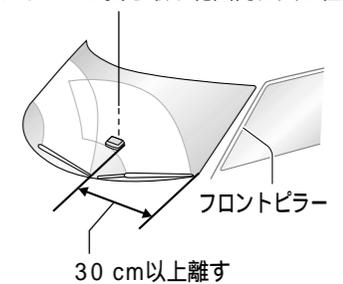
準備

設置面の汚れ(ごみ、油など)をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
気温が低いときは、設置面をドライヤーなどで温めてください。

取り付け位置について

各種電子機器(本機など)から20cm以上(推奨)離してください。
前方・後方の視界、およびデフロスタの性能を妨げない位置に取り付けてください。
助手席エアバッグの近くには、取り付けしないでください。
電源コードからは、できるだけ離してください。

上方から見て、ワイパーの拭き取り範囲内に入る位置

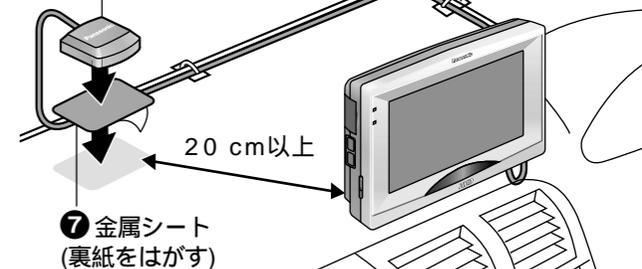


ダッシュボードやリアトレイの上(中央部のガラス付近)に水平に取り付ける。

⑫ コードクランパー

TV・FM多重用アンテナのコードと束ねて固定すると、きれいに配線できます。

⑥ GPSアンテナ

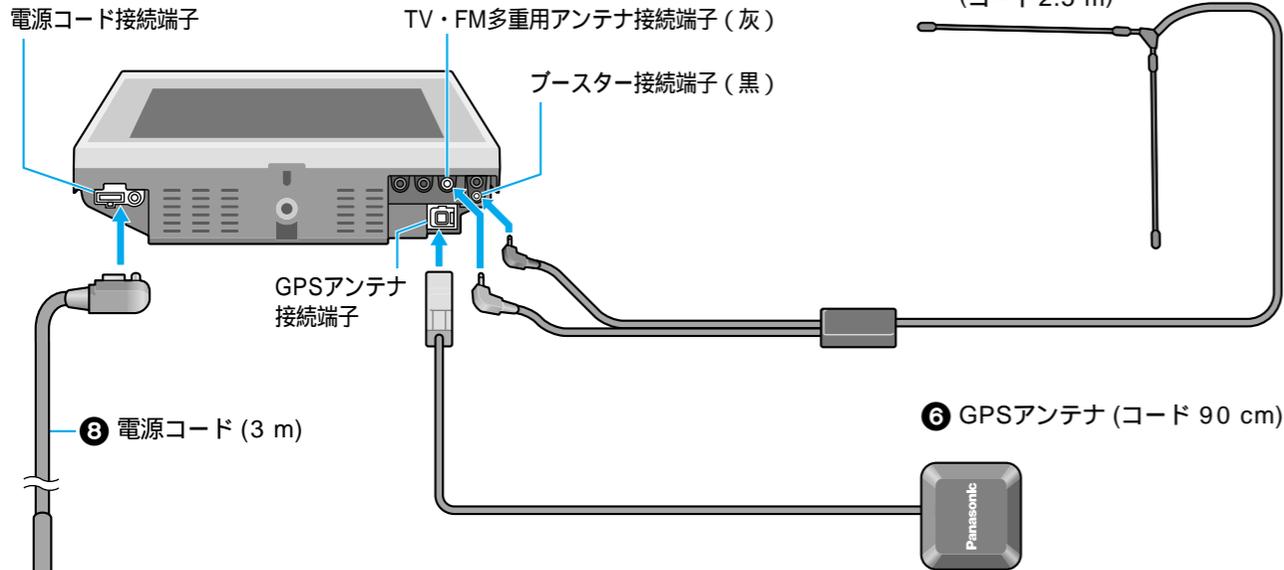


お願い

金属シートは、
・必ず、付属の金属シートを使用してください。
・折り曲げたり、切って小さくしないでください。
あまったアンテナコードをまとめるときは、カーナビゲーション本体から30cm以上離してください。
GPSアンテナに時計や磁気カードを近づけないでください。故障したり、使えなくなる場合があります。

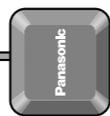
配線のしかた

1 カーナビゲーション本体（底面）



3 TV・FM多重用アンテナ（コード2.5 m）

6 GPSアンテナ（コード 90 cm）



8 電源コード（3 m）

アクセサリコード（赤：70 cm）

ヒューズ 7.5 A

車のACC電源へ

エンジンスイッチにACCポジションがない場合は、バッテリー上がりの原因になるため、お買い上げの販売店に相談してください。

アースコード（黒：70 cm）

車体の金属部へ

サイドブレーキコード（青/黄：70 cm）

SIDE BRAKE

サイドブレーキスイッチ

車体

サイドブレーキが解除のときに車体にアースされていない方へ接続してください。

13 圧着式コネクタ

車速信号コード（若葉色：70 cm）

SPEED

9 車速信号中継コード（若葉色：1.5 m）

あまったコードは切らずに束ねてください。

この部分は回路保護部品です。切り離したりせず、必ずこの状態のままで車速信号取り出し箇所の方に接続してください。

13 圧着式コネクタ

エンジンコントロールコンピュータユニット (ECU)

安全にお使いいただくためのお願い

取り付け・配線等に、保安部品を絶対に使わないでください。

保安部品（ステアリング・ブレーキ系統・タンクなど）のボルト・ナット・ビスを使用すると、事故の原因になります。説明に従い、付属品や指定の部品を使用してください。

DC12 V \ominus アース車で使用してください。

本機はDC12 V \ominus アース車専用です。DC24 V車（大型トラック、寒冷地仕様のディーゼル車など）には使用できません。火災や故障の原因になります。

必ず規定容量のヒューズを使用してください。

また、交換は専門技術者に依頼してください。

規定容量を超えるヒューズを使用すると、発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」（別紙）に依頼してください。

分解・修理、および改造をしないでください。

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのはやめてください。火災・感電、故障の原因になります。

取り付け・配線作業中は、バッテリーの \ominus 端子を必ずはずしてください。

バッテリーの \ominus 端子をつないだまま取り付け・配線作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

お願い

コネクタは確実に差し込んでください。

コードは高熱部や車の金属部との接触を避け、コードクランパーや市販のテープなどで固定してください。TVアンテナのコードは、他のコードとは離して配線してください。

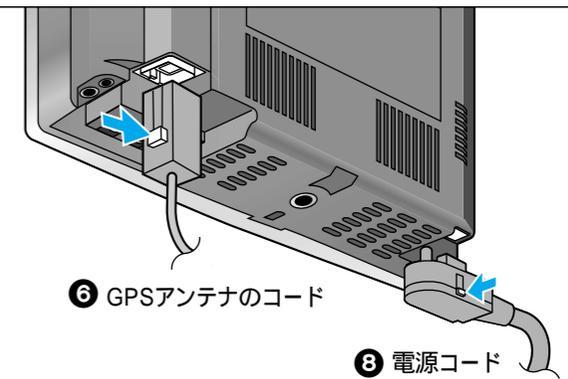
必ず、取り付け・配線の確認を行ってください。（ \Leftarrow 裏面）

ロック付きコネクタの取りはずしかた

矢印の方向に押しながら、取りはずしてください。

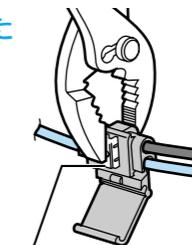
無理に引っ張ると、破損することがあります。

必ず、ロックが解除されていることを確認してから取りはずしてください。



圧着式コネクタの取り付けかた

サイドブレーキコードなど



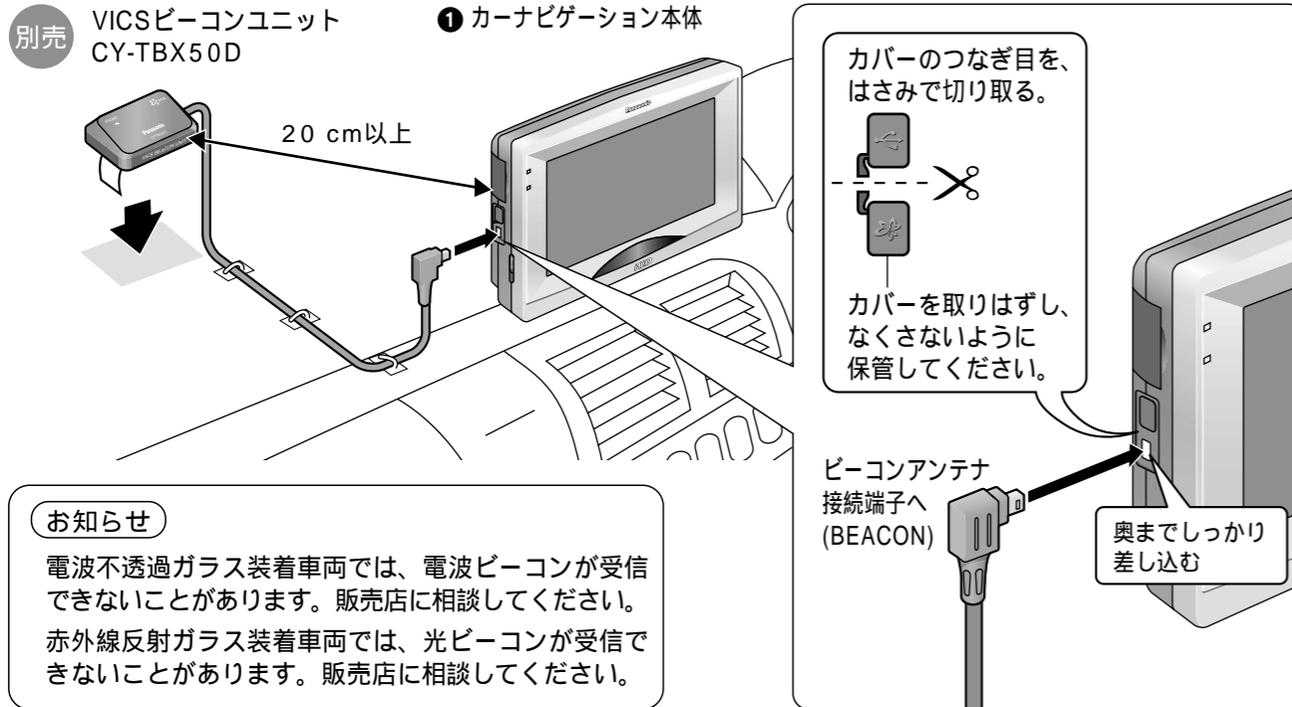
お願い

車速信号取り出し箇所は、車種・年式・エンジン型式によって異なりますので、お買い上げの販売店に相談してください。必ず付属の車速信号中継コードをご使用ください。

別売 VICSビーコンユニットを接続して使う 品番：CY-TBX50D

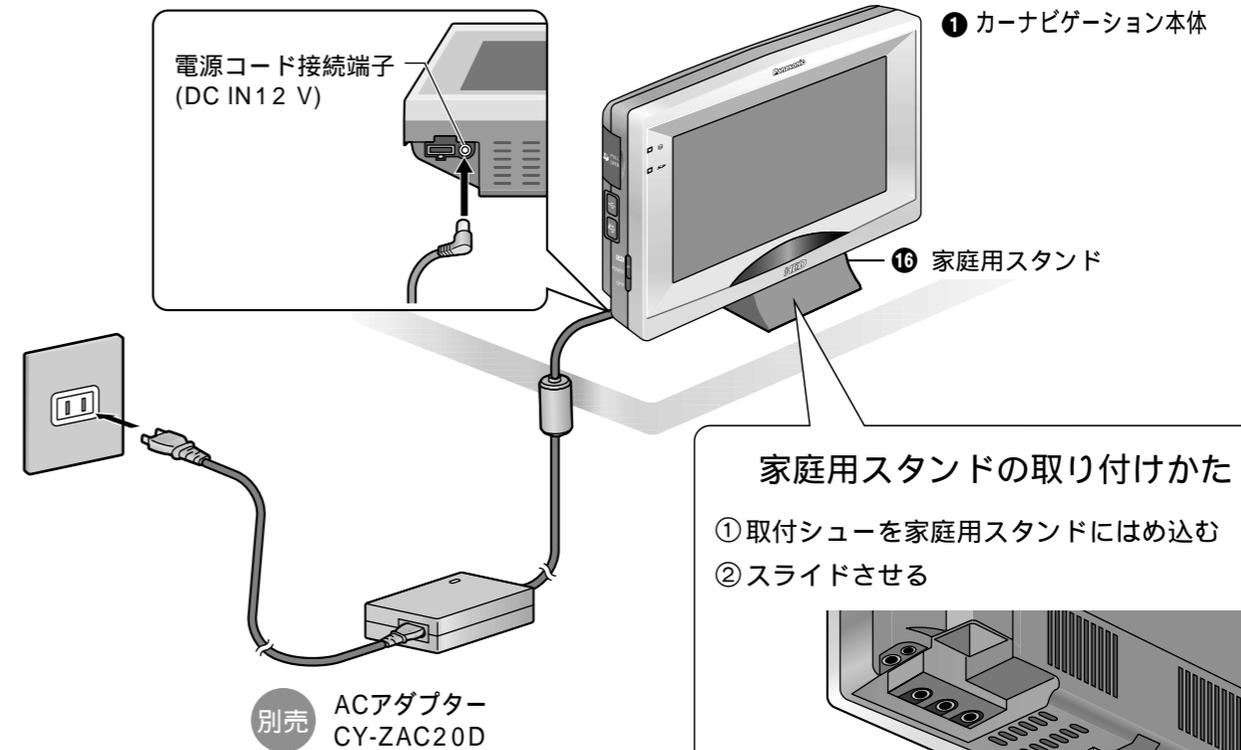
電波/光ビーコンからVICS情報を受信できます。
操作方法については、取扱説明書をご覧ください。

ダッシュボードの上(中央部のフロントガラス付近)に取り付ける。



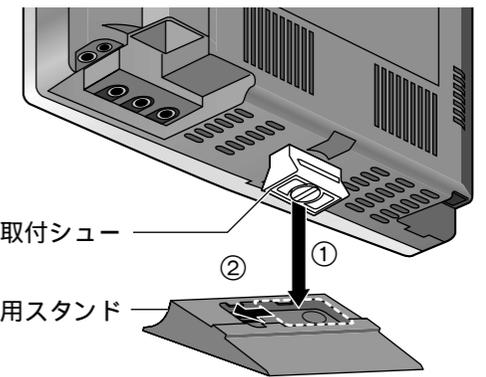
別売 専用のACアダプターを接続して使う 品番：CY-ZAC20D

家庭用電源に接続し、ナビゲーションで地図画面を見たり、ルートを作ったりすることもできます。
また、パソコンとUSB接続で使用するときにも使います。
(USB接続でパソコンとデータのやり取りができる「PCリンク機能」をHD-naviダウンロードサイト上にリリースする予定です。)



家庭用スタンドの取り付けかた

- ① 取付シューを家庭用スタンドにはめ込む
- ② スライドさせる

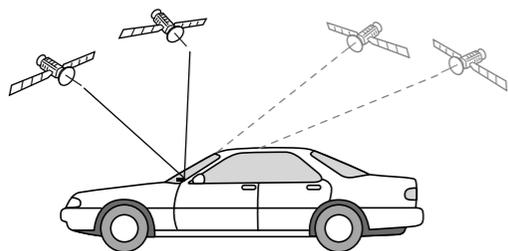


別売 屋外用のGPSアンテナを接続して使う 品番：CA-GP50D

本機に付属の室内用GPSアンテナでGPS信号を受信しにくいときにご利用ください。

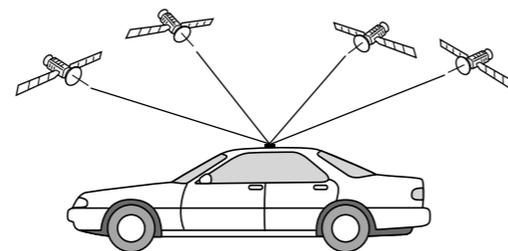
付属の室内用GPSアンテナの場合

受信しにくい場合があります



別売の屋外用GPSアンテナの場合

受信しやすくなります



お願い

専用のACアダプター以外は使用しないでください。故障の原因になります。
本機にACアダプターを接続しないときは、コンセント側も抜いてください。
室内で使うときは、本機を安定した場所に置いてください。
水のかかる場所、湿気やほこりの多い場所で使用しないでください。
家庭用スタンドを車内で使用しないでください。

お知らせ

ナビゲーションを車から取りはずして使用しているときは、FM多重放送を受信できません。
本機専用の家庭用TVアンテナはありません。室内でテレビを見るときは、お買い上げの販売店に相談してください。

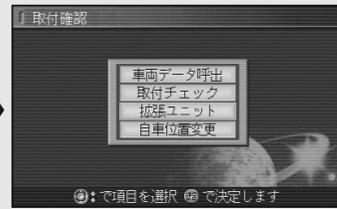
取り付け・配線の確認

車両信号を確認する

- ① メニュー画面「情報」から
「**取付確認**」を選ぶ



- ② 「**取付チェック**」を選ぶ



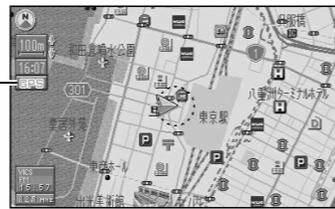
取り付け後、初めてお使いになるときは

本機を正しく動作させるため、下記の手順で取り付け・配線を確認してください。

- ① 「GPSアンテナ」「サイドブレーキ」「ACC電圧」を確認する。(右記)
別売のシステムアップ電源コード(CA-LPS30D)をお使いの場合は、「リバース」も確認してください。
- ② 「本体取付確認」を行う。(右記)
- ③ 「車速パルス」「学習レベル」「ジャイロ角度補正」「3Dセンサ補正」をリセットする。(右記)
- ④ 現在地画面を表示させ、しばらく(30分程度)走行する。

本機の電源をONにしてすぐ(オープニング画面表示中)は、車を発進させないでください。(システムを起動する準備をしています。)平均時速20 km以上で見通しの良い場所を走行してください。

GPS マークで、GPS信号を受信していることを確認してください。



- ⑤ しばらく走行したら、停車して、「スピード」「車速パルス」「学習レベル」「ジャイロ角度補正」「3Dセンサ補正」を確認する。(右記)

以上で取り付け・配線の確認は終了です。
異常が確認されたときは、正しく取り付け・配線されているかを確認してください。

お知らせ

次の場合にもリセットが必要です。
・違うタイヤに交換した
・タイヤをローテーションした

市街地などで渋滞・停車を頻繁に繰り返すコースや右左折が多いコース、またGPS信号を受信しにくいコースでは補正処理に時間がかかり、学習内容に誤差が出る場合があります。

車種によっては、スピードをあげると自車マークが動かなくなることがありますが、補正処理を行っている間は故障ではありません。

GPSアンテナ	ON表示になっていますか？
リバース 1	チェンジレバーをR(リバース)に入れるとON表示に変わりますか？
サイドブレーキ	サイドブレーキを引くとON表示に変わりますか？
スピード	自車の速度を表示します。
ACC電圧	12V(11~16V)になっていますか？
本体取付確認	停車中に「 本体取付確認 」を選ぶと、本体の取付状態がチェックされます。チェック完了後、「本体が正常に取り付けられています。」と表示されますか？「取付説明書で本体の取り付けを確認してください」と表示されたときは、表面の「カーナビゲーションの取り付けかた」をご覧ください、カーナビゲーション本体がしっかりと取り付けられているか確認してください。
車速パルス 2	数字が変化していますか？ パルスリセット を選ぶと、車速パルスが0にリセットされます。
学習レベル(距離補正の精度)	数字が変化していますか？(レベル3が最も誤差の少ない状態) レベルリセット を選ぶと、レベルが1にリセットされます。
ジャイロ角度補正	補正完了になっていますか？ 補正リセット を選ぶと、未補正にリセットされます。
3Dセンサ補正	補正完了になっていますか？ センサーリセット を選ぶと、未補正にリセットされます。

- 1 別売のシステムアップ電源コード(CA-LPS30D)使用時のみ
- 2 車から出力される車速パルスを利用して、より正確な自車位置を地図画面上に表示させることができます。(全自動距離補正システム)

FMトランスミッター機能の確認

- ① FMラジオの受信周波数をFM76.0MHzに合わせて、
- ② テレビ画面に切り替え、
- ③ テレビの音声FMラジオのスピーカーから聞こえるかを確認してください。

お知らせ

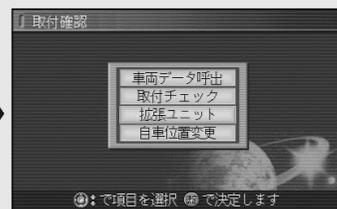
FMトランスミッターがラジオ放送と混信するときは、FMトランスミッターの周波数を変更してください。(取付説明書「操作編」)

拡張ユニットを確認する

- ① メニュー画面「情報」から
「**取付確認**」を選ぶ



- ② 「**拡張ユニット**」を選ぶ



メモリーカード	別売のSDメモリーカードを挿入すると、接続表示に変わりますか？
ビーコンユニット	別売のVICSビーコンユニット(CY-TBX50D)を接続すると、接続表示に変わりますか？

SDメモリーカード(推奨品)

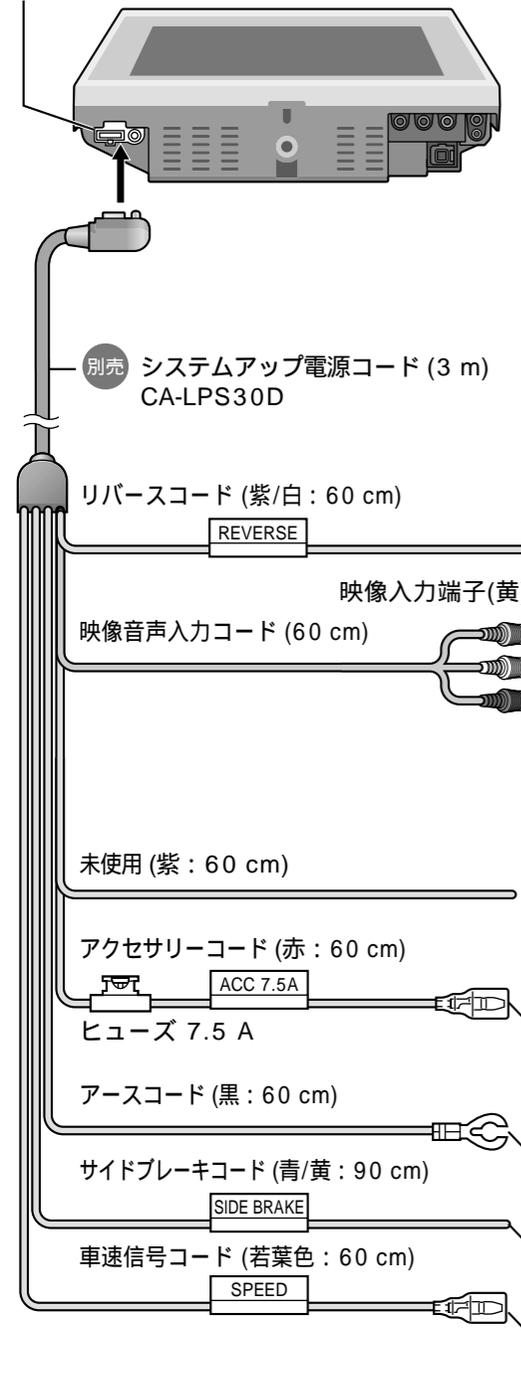
容量	品番(Panasonic)
8 MB	: RP-SD008
16 MB	: RP-SD016
32 MB	: RP-SD032
64 MB	: RP-SD064
128 MB	: RP-SD128

別売 システムアップ電源コードを使う 品番：CA-LPS30D

車載用カメラやDVD-Videoプレーヤーなどと接続できます。
 システムアップ電源コードを接続すると、VTR画面に切り替えられます。
 ナビTVを押すごとに切り替わります。 ナビ画面> テレビ画面> VTR画面

① カーナビゲーション本体（底面）

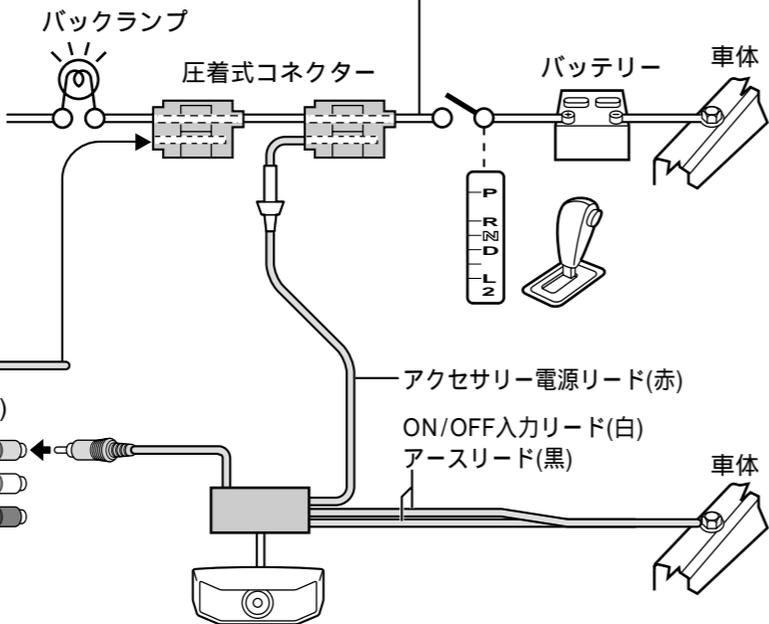
電源コード接続端子



車載用カメラと組み合わせる場合

必ずカメラ入力を設定してください。
 (←「操作編：利用に応じた設定に変える」)

車のシフトレバーをリバース(R)に入れたときに点灯するバックランプ (後退灯、透明のレンズが付いたランプ) のプラス線に接続してください。



DVD-Videoプレーヤーと組み合わせる場合

① カーナビゲーション本体



別売 DVD-Videoプレーヤー (CX-DVP292D)

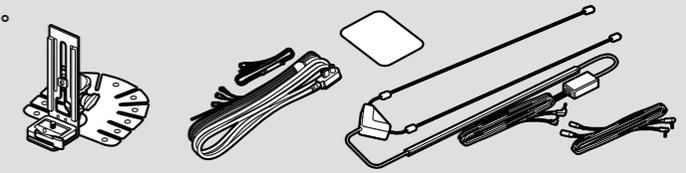


付属の電源コードと同様に接続してください。

別売 HDDナビ用のせかえキットを使う 品番：CA-FN30D

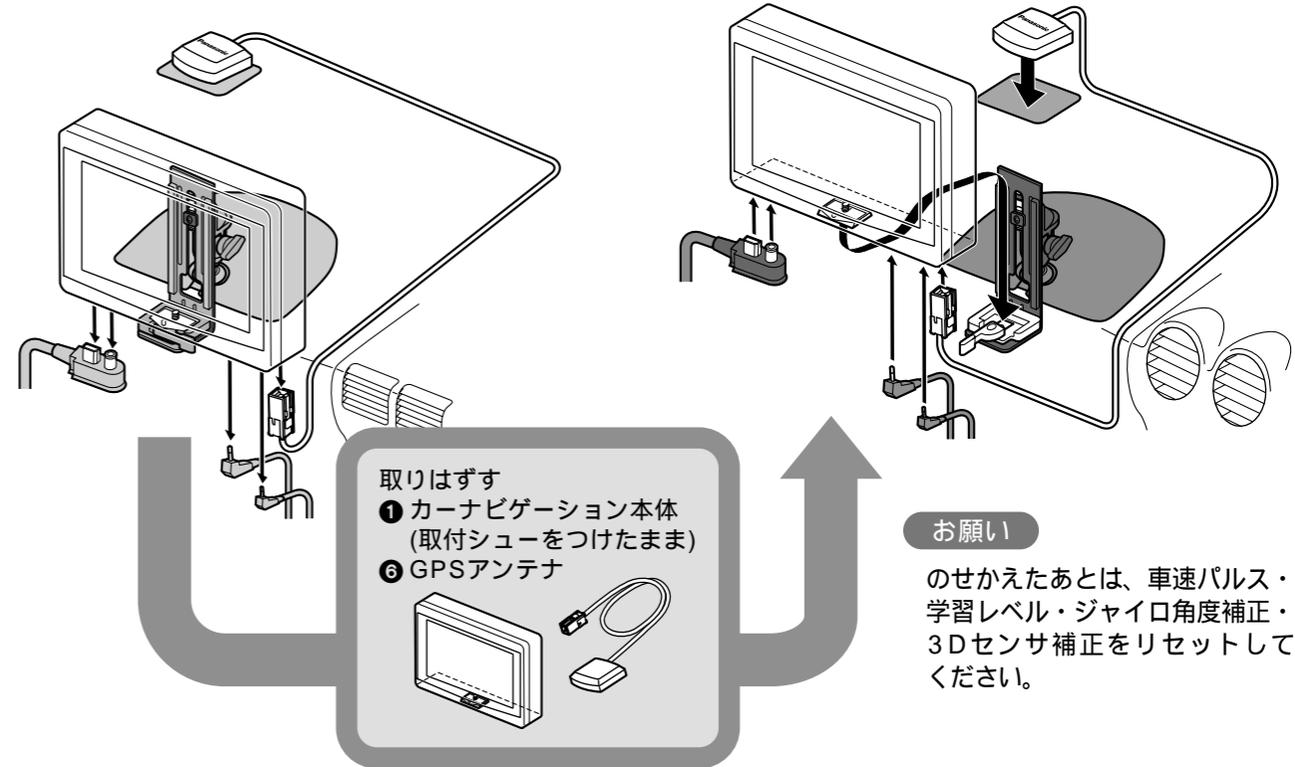
車から別の車へ簡単に移しかえることができます。

- スタンド
- 金属シート
- TV・FM多重用アンテナ
- 電源コード



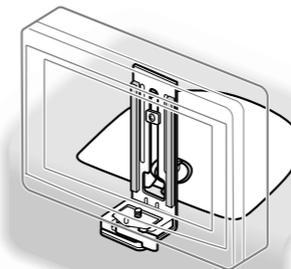
① 接続されているコードを全て取りはずし、カーナビゲーション本体を取付シューごと取りはずす

② 別の車に取り付けた、のせかえキットに、カーナビゲーション本体とGPSアンテナを接続する



別売 HDDナビ用オンダッシュスタンドを使う 品番：CA-FN25D

スタンドを取り付けなおす場合などに、ご購入ください。(粘着力が弱くなるため、貼りなおしができません。)



別売 ダイバーシティアンテナを使う

品番：CL-T90D/CL-T80D/CL-T70D

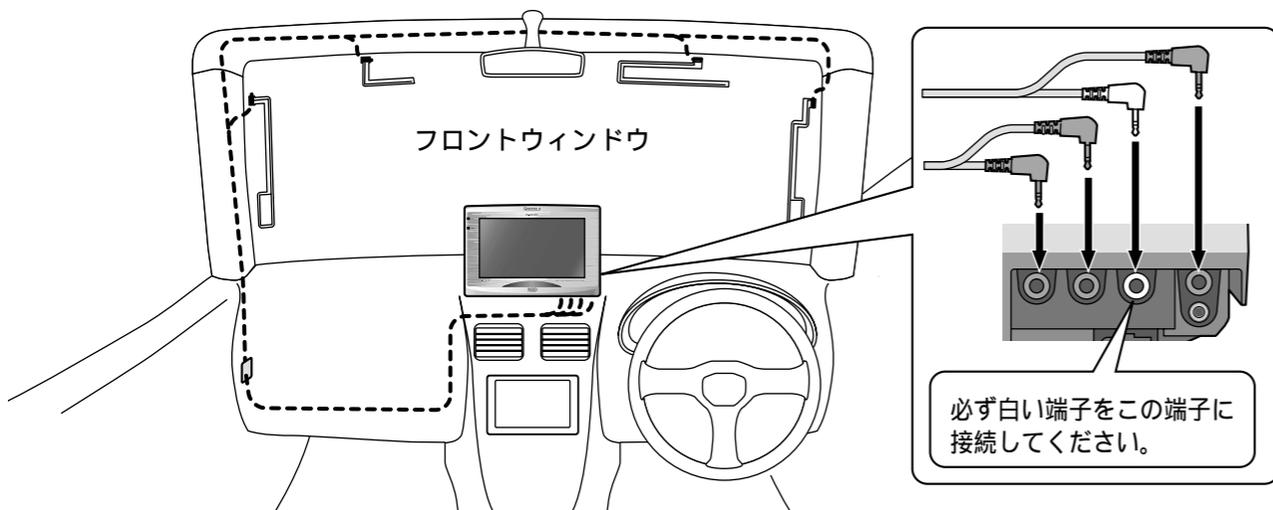
本機に付属のTV・FM多重用アンテナを取りはずして、ダイバーシティアンテナを接続してください。
車内でテレビを見るときに、テレビの受信状態が安定します。

必ず「ダイバー設定」を「ON」に設定してください。（☞「操作編：利用に応じた設定に変わる」）
詳しくは、アンテナの取扱説明文などをご覧ください。

CL-T90Dを接続する場合

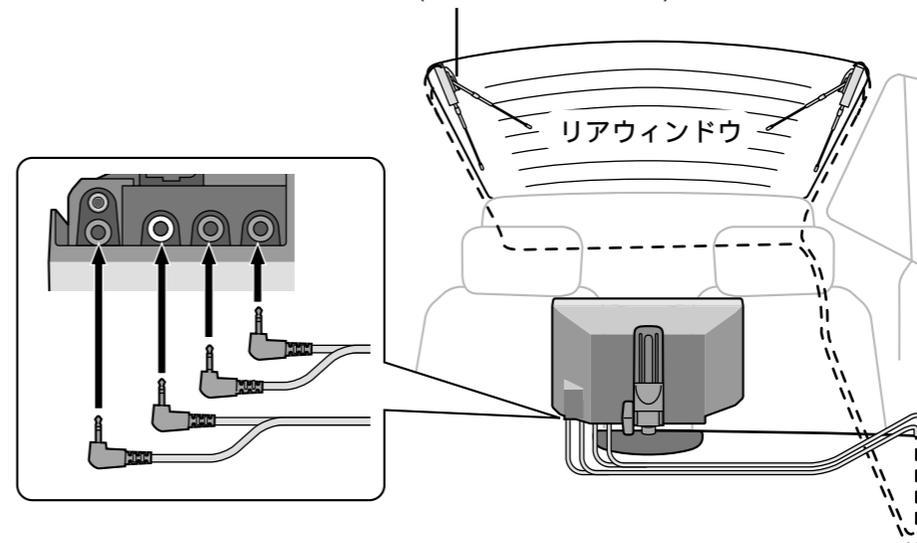
取り付けるために、車内の金属部の塗装を、一部はがす必要があります。

別売 フィルムタイプダイバーシティTVアンテナ
CL-T90D (室内に取り付けます)



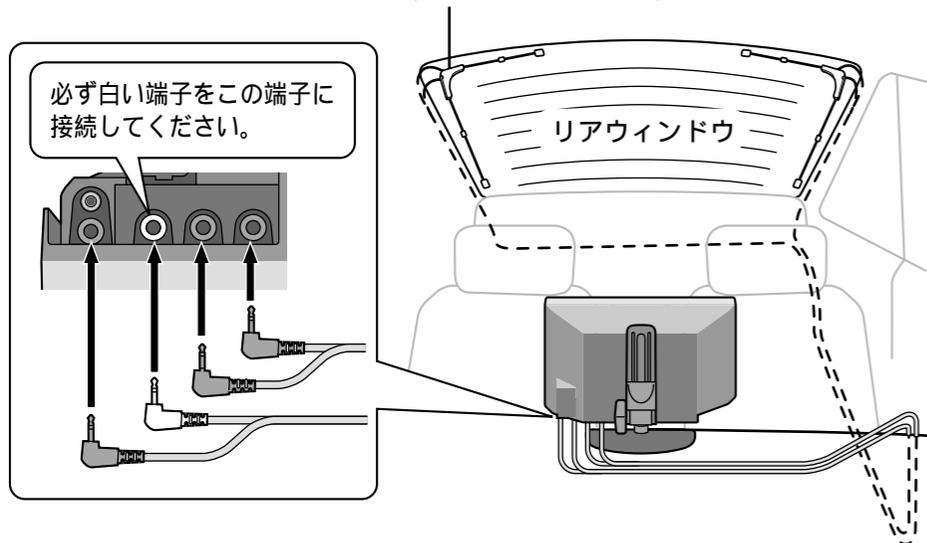
CL-T70Dを接続する場合

別売 室外用ダイバーシティアンテナ
CL-T70D
(室外に取り付けます)



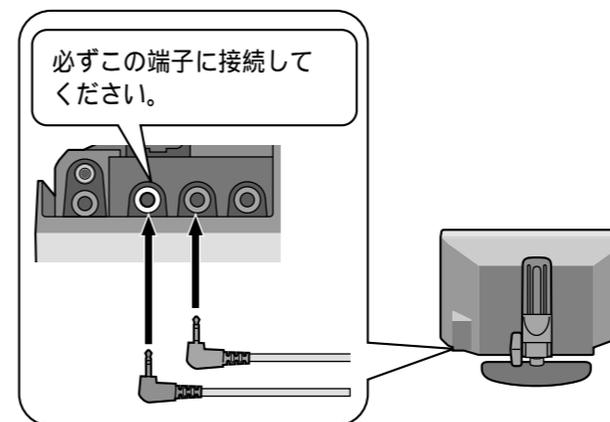
CL-T80Dを接続する場合

別売 室内用ダイバーシティアンテナ
CL-T80D
(室内に取り付けます)



その他のダイバーシティアンテナを接続する場合

アンテナコードの端子が左右1つずつの場合は、下図の通り接続してください。



お知らせ

アンテナコードの端子が左右2つずつある場合は、CL-T70Dと同様に接続してください。